

道後hakuroの SDGs目標

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



道後hakuroは持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け取り組みます

SDGsへの取組み

- 1.道後hakuroと地域の繋がりが生み出す地域経済活性化
- 2.環境に優しい設備やサービスの導入
- 3.Withコロナ時代を見据えた設備導入と働き方改革
- 4.職場環境の向上、雇用創出への取組み
- 5.取り組む今後の課題と目標



1.道後hakuroと地域の繋がりが生み出す地域活性化

■外構デザインのコンセプトは緑に囲まれた『ガーデンパーキング』

館名にちなんだ896本の植木・草花が建物をぐるりと取り巻くように配され、坂の上のシンボリックな立地に緑溢れる丘の風景と『大きく広がる空が見える丘』の景色を再生し、道後のまちの景観づくりに寄与すると共に、『地域に開かれたホテル』のイメージを敷地全体で表現しています。また、散水は地下水を利用する事により節水にも心掛けております。



1.道後hakuroと地域の繋がりが生み出す地域経済活性化

■まち歩きによる地域の魅力創出と
地域経済の活性化

2食付きの旅館型ではなく、あえて宿泊特
化型のホテル経営にする事で、ほとんどの
お客様が地域の観光施設や飲食店へ外出
する事により、地域の魅力創出と飲食や購
買による地域経済の活性化に繋げる取組み
ラウンジには大きな黒板に商店街の散策
マップやフロントに手書きの飲食店マップ
などをご準備しております。



2.環境に優しい設備やサービスの導入

■連泊時のエコ清掃の推進

連泊の際の客室清掃はエコ清掃を基本としております。お客様毎のご要望にお応えできる様、ドア前貼り出し用マグネット(清掃要・不要・エコ清掃)を設置し、サービスレベルの維持にも心掛けております。

■バスアメニティ・ポンプボトルを採用

シャンプーやコンディショナーなど、ポンプボトルを採用し、歯ブラシやブラシなどもバイオマス製品に切替え、プラスチックゴミの削減に取り組んでおります。



2.環境に優しい設備やサービスの導入

■エネルギーの消費を抑える取組み

- ・館内全ての照明をLED化
 - ・客室空調など全て個別対応
 - ・共用部トイレには人感センサーを設置
 - ・連泊のお客様へエコ清掃の呼びかけ
 - ・予約客数の増減により道後温泉からの配湯をコントロール(休止・給湯手続き)
- こまめなフロア等の電気の消灯やエアコンの温度調節などの管理を行い節電を心掛け、地域の財産である温泉の節水にも努めております。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

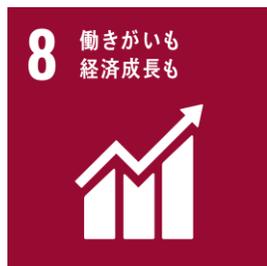


3. Withコロナ時代を見据えた設備導入と働き方改革による業務効率化

■安心安全にお過ごしいただくために
タブレット・自動精算機を活用したチェックイン
システムのデジタル化による非接触型チェック
インの確立と時間短縮による業務効率化

■働き方・仕事の仕組みを変える事による生産
性の向上

1人のスタッフが横断的に多くの業務をこなす
マルチタスクワークを採用する事で、個人のマ
ネジメント能力を磨き将来の観光業界を牽引
する人材を育てる取組み



4. 職場環境の向上と雇用創出への取り組み

■ 働きやすい職場作り

多様性への配慮を目的に性差を感じさせないユニセックスな制服を取入れ、管理職に女性を採用するなど、ジェンダーフリー・ボーダーレスな雇用環境作りに取り組んでいます。また、お客様の朝食と同内容で賄いを準備する事により、スタッフの健康にも気を配ると共に廃棄食材を減らす取り組みにも繋げております。



3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



16 平和と公正を
すべての人に



5.当館が取り組む今後の課題と目標

- ①最先端の技術を導入した宿の運営
- ②防疫、防災への独自の取り組み
- ③さらなる働き方改革の推進による人材育成
- ④スタッフ(社員・パート含む)へのSDGsの目的や理解度を深める取り組み



道後 hakuro

①最先端の技術を導入した宿の運営

■AI技術や5G通信網などの最先端な技術導入による業務効率化

②防疫、防災への独自の取組み

■新型コロナウイルスなどの感染症への防疫や南海トラフ地震などの大規模災害時の地域への防災拠点としての役割

③さらなる働き方改革の推進による人材育成

■さらなる働き方改革を道後エリアにおいて先進的に進め、安定した雇用の創出や満足度向上を目指します。

④スタッフへのSDGsの目的や理解度を深める取組み

■全スタッフへのSDGsの啓発

- ・理解を深める事で生産性の向上への意識が高まる
- ・企業イメージ、顧客からの信頼性の向上
- ・省エネやフードロスの取組みにも繋がる
- ・宿泊をする事がエシカルな消費活動にも繋がる
- ・取組みを継承する事が道後hakuroの強みとなる

